

立 携帯の情報漏えい防止

日 次世代暗号技術を活用

日立製作所は、携帯電話で電子商取引などを
 する際に個人情報盗み出されるのを防ぐ技術を開発した。解説不可能とさ

「タル署名」と呼ぶ本人確認の情報添付される。日立は現在主流の暗号方式より安全性の高い「円曲線暗号」という暗号方式を採用し、携帯電話用のICチップに組み込んだ。暗号の計算手法を改良し、携帯電話の実際の使用環境でも安全性を確保

した。電力消費量や電波を手がかりに第三者が情報を盗み取るのを防止し、安全性が脅かされる危険性をほぼゼロにできた。携帯電話などメモリ規模の小さい機器でも使える。新技術はドイツのダルムシュタット工科大学と共同開発した。ICカード機能を内蔵し、財布代わりに使える。携帯電話が登場しはじめ、電子商取引の安全性に対する要求が高まっている。